

協立病院外来看護科

協立病院外来看護科は外来・手術室・内視鏡室の3部署が一緒になった部門です。



外来は

救急搬送や初めて受診される方・紹介状を持参の患者さんなどがいらっしゃる新患外来、循環器内科・外科・整形外科・皮膚科・腎臓内科があります。定期的に通院されている方も含め健康状態を把握し、自宅・施設などで“その人らしい生活”ができるよう医療相談室や訪問看護師など各部門と連携をとりながら、看護の提供をしています。

*手術室・内視鏡スタッフ

「外来は病院の顔」です。常に患者様を温かく迎え、日々、患者様が安心して医療を受けられるようにお手伝いするとともに、人を大切にする看護を提供しています。短い関わりの中にも、安全を第一に安心な看護を心がけ、信頼される温かみのある看護を目指しています。

内視鏡:

年間約9300件の胃カメラ・1800件の大腸カメラを実施しており、県内でもトップクラスの内視鏡件数です。経鼻内視鏡も準備しています。高画質のカメラを取りそろえ洗浄消毒装置を使用しハイレベル洗浄を行っています。

検査を行うだけでなく、早期胃癌の治療や大腸ポリープ切除も行っています。また、胆道にできた石を取り除いたり砕いたり、胃瘻を作ったり内視鏡室では様々な手術・治療が行われます。

患者さんにとって、検査や治療は緊張と不安でいっぱい입니다。そうした患者さんの気持ちが少しでもほぐれるような声掛けや丁寧な説明を心がけています。



手術室

外科・整形外科・産婦人科・皮膚科の手術や、心臓血管・足の血管のカテーテル検査を行っています。緊急治療が必要な心筋梗塞・不整脈の治療などにも対応しています。

短い時間の関わりの中にも、安全を第一に安心な看護を心がけ、信頼される温かみのある看護を目指しています。手術室は、怖い所というイメージをお持ちかもしれませんが、マスクの下には笑顔いっぱいの明るく元気なスタッフが働いています。

手術をお受けになられる患者さんは安心して手術をお受け下さい。

